

鈴木 舞 & 川口成彦

さらに深みを増す
モーツァルト晩年、傑作の森

モーツァルト！
ヴァイオリンソナタ
全曲演奏会

第4回 プログラム

「さらなる深みへ
vol.1」

ヴァイオリンソナタ 第24番 ハ長調 K.296 ※初期作品

ヴァイオリンソナタ 第40番 変ロ長調 K.454

幻想曲 ハ短調 K.396 (ピアノソロ)

ヴァイオリンソナタ 第41番 変ホ長調 K.481

※プログラム等は、やむを得ない事情により、変更になる場合がございます。

123
Mitake Sayaka Salon (vol.1)

全曲プロジェクト第4弾

©Yukiko Shibuya



2022年 7月13日(水)

18:30 開場/19:00 開演

【入場料】

会員 4,500円(座席指定可)/一般 5,000円/学生 2,500円(全席自由席)

<https://bit.ly/38vc750>

Photo D©Juan José Molero Ramos

さらに深みを増すモーツァルト晩年、傑作の森

鈴木 舞&川口成彦

モーツァルト・ヴァイオリンソナタ全曲演奏会

2022年7月13日 (水) 第4回「さらなる深みへ vol.1」
開場18:30/開演19:00

【入場料】

会員 4,500円(座席指定可)/一般 5,000円/学生 2,500円(全席自由席)

さらに深みを増す、鈴木舞 & 川口成彦によるモーツァルト ヴァイオリンソナタ全曲演奏!!
想像を超え、愛に満ち溢れたモーツァルトの音楽の旅へ——

【123シリーズ・全曲プロジェクト第4弾】

鈴木舞&川口成彦によるモーツァルトヴァイオリンソナタ全曲演奏、第4回! 鮮烈なスタートを切った第1回では、モーツァルトの音楽の不思議な魅力を圧倒的に感ぜずにはいられませんでした。そして第2回、第3回の「1781年」では、宮廷楽師の職を捨て、フリーランスの音楽家としての道を歩み始めた25歳のモーツァルトが、葛藤と苦悩のなか、さらに輝きを増して生まれた作品たちに魅せられました。モーツァルトの音楽は、どんな曲であっても、常に太陽のようにわたしたちを照らしてくれま

す。"全曲"演奏会だからといって気を張ることはなく、聴けば聴くほど体が軽くなり、浄化されていくのがモーツァルトです。

カール・パルトという神学者は、「天国では、神様たちはモーツァルトの音楽ばかりを聴いている」といっています。

モーツァルト ヴァイオリンソナタ全曲演奏会の第4回「さらなる深みへ vol. 1」では、最高傑作として知られるヴァイオリンソナタ 第41番 変ホ長調 K.481をはじめ、さらに深みを増す晩年の傑作を生み出した彼の音楽のキーファクターとなる作品たちを取り上げます。

どこまでも美しく、純度の高い音楽を世に生み出した天才ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)。その奇跡ともいえるモーツァルトの音楽の秘密に、鈴木舞、川口成彦という二人の才能が挑みます!

求道的な姿勢で音楽の本質を追究し、研ぎ澄まされた感性から生まれるインスピレーションをニコロ・アマティによって紡ぎ出す鈴木舞——。

ショパン国際ピアノ楽器コンクールで第2位を受賞し、新進気鋭の古楽器奏者として一躍、注目を浴びている川口成彦——。

今、奇跡とも言える二人の奏者のコラボレーションに、ときめきが止まりません。モーツァルトが駆け抜けた35年という短い生涯にも、たびたび、立ち止まり、振り返ることがあったことでしょう。そして、さらに駆け抜けていく、それがモーツァルトの生涯でした。

モーツァルトの魂の「真昼の真つ只中」に書き遺された楽譜や言葉は、時代を超え、現代に生きる私たちの生命・生活・生涯のさまざまな場面で、真実を垣間見せてくれています。

さあ、計り知れない慈愛に満ち溢れたモーツァルトの音楽の深みとかぎりない広がり、共に旅立ちましょう。
(美竹清花さろん)

123
Mitake Sayaka Salon (vol.113)
全曲プロジェクト第4弾



鈴木舞 (SUZUKI Mai) Violin

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業し、ローザンス、ザルツブルグ、ミュンヘンでディプロマ、国家演奏家資格を取得。在学中より国内外でリサイタルやコンサートに出演し、これまでに小林研一郎、円光寺雅彦、飯森範親、ニコラス・ミルトン、ヨルマ・バスラ、イヴァン・レプシッチらの指揮で、読売日響、東響、日本フィル、スイス・ローザンス室内管、フィンランド・クオオピオ響、チェコ・モラヴィアフィル、ドイツ・ホーフ響、クワアチア放送響、ザグレブ・ソリスト等と共演。

2007年チャイコフスキー国際コンクール(ロシア) 最年少セミファイナリスト、2011年アンリ・マルト国際コンクール(ドイツ) ファイナリスト、2013年ヴァーツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール(クワアチア)で優勝、オーケストラ賞、オルフェウス室内楽コンクール(スイス) 優勝、2016年スピヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール(ロシア) 第2位、2018年コープミュージックアワード室内楽コンクール(イタリア) 第2位。

2012年度チャネル・ビグマリオン・デイズ・アーティスト。東京交響楽団と録音したベートーヴェン・ヴァイオリン協奏曲〜第3楽章、マスケタイズの瞑想曲が日経ミュージックセレクションCD「モーニング・イン・クラシック」に収録された。2017年にキングレコードよりデビューアルバム「Mai favorite」をリリース、2020年「ルドン、ロードレック展」(三菱一号館美術館)のオーディオガイド、並びにタイアップCDに演奏が使用された。使用楽器は1683年製のニコロ・アマティ。



川口成彦 (KAWAGUCHI Naruhiko) Piano

1989年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第1回ショパン国際ピアノ楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位、第1回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール優勝、フィレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭(ワルシャワ)をはじめ欧州の音楽祭にも出演を重ねる。

協奏曲では18世紀オーケストラ、[oh!] Orkiestra Historycznaなどと共演。2018年にはロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催した。またモダンピアノでは2016年にアメリカにて世界的オーボエ奏者ニコラス・ダニエルと共にブランクの「オーボエ、ピアノとピアノのための三重奏曲」の最終稿の世界初演を行っている。東京藝術大学/アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。

フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガールの各氏に師事。欧州のレーベルからリリースされたCDに加え、2018年には自主レーベル MUSIS を立ち上げ、第一弾としてバルトークの「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」をアナログレコードでリリースする。またスペイン音楽をこよなく愛し、2019年にCD「ゴヤの生きたスペインより」を発表する(レコード芸術/朝日新聞特選盤)。2020年にはACOUSTIC REVIVEより「ショパン夜想曲&小品集」を発表。第46回日本ショパン協会賞受賞。

モーツァルト ソナタ全曲演奏会 (2021年~2023年)

第1回「パワ・ソナタ集」2021年1月13日(水)

第2回「1781年 vol.1」2021年7月28日(水)

第3回「1781年 vol.2」2022年1月15日(土)

第4回「さらなる深みへ vol.1」2022年7月13日(水)

第5回「さらなる深みへ vol.2」2023年1月14日(土)



大ホールプラチナ席をしのぐ
“美竹清花さろんという楽器”の中で
味わう一期一会
世界に羽ばたく才能あふれる
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、
演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 I L A (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188

